

さぬき市市制施行20周年記念誌

さぬき市のあゆみ

SANUKI
CITY 20th ANNIVERSARY
2022

SANUKI CITY 20th



市長挨拶

さぬき市は、今から20年前の平成14年4月1日に、5つの町が合併して誕生しました。

この間、市議会や市民の皆さんのご理解とご協力をいただきながら、喫緊の課題であった財政の健全化をはじめとする行財政改革に取り組むとともに、極めて厳しい財政状況の下で、なかなか意のままにならないことも多々ありましたが、将来のさぬき市に必要と思われる市民病院の建て替えや分庁舎の建設、台風等の自然災害に備えた防災・減災事業、更には、子ども達の教育環境を整備するための小・中学校の統合など、本市がこれから飛躍するための基盤整備等を進めてまいりました。

また、一昨年から日本を含む世界中で爆発的に感染が拡大している新型コロナウイルス対策として、感染拡大の防止と幅広い分野での様々な支援対策を実施し、市民の皆さんの安全・安心を確保する取組を進めています。

一方、市の財政状況は、3次にわたる財政健全化策等に沿った種々の取組により一定の改善がみられるものの、近年の大型建設事業の実施に伴う公債費の増による実質公債費比率の悪化や、経常的経費総額の増加による経常収支比率の上昇など、依然として厳しいものとなっています。

今後とも、まちの将来像である「自然豊かでいきいき 笑顔あふれて快適に みんなで暮らすふるさとさぬき」を目指し、「守る つなぐ 進化する」の基本理念の下、地方創生に向けた取組を鋭意進めるとともに、「量」から「質」への転換を図り、「住んでみたい」「住み続けたい」と思える「ひとつ上の質の良さ」を求め、魅力あるまちづくりに努めてまいりたいと考えています。

取り組むべき課題は広範多岐にわたり、寄せられるニーズも多種多様ですが、市制施行20周年を一つの契機として、さぬき市の良さと魅力が再認識され、市民の皆さんの一体感が高まり、市全体が新たなステージへと飛躍する出発点となることを心から祈念し、ご挨拶とします。

さぬき市長 大山 茂樹



ANNIVERSARY

CONTENTS

市長挨拶	1	
Mayor greeting		
議会	4	
The municipal assembly		
行財政	5	
Administration & finance		
情報コミュニティ	7	
Information & community		
保健・福祉	9	
Health & welfare		
環境衛生	11	
Environmental hygiene		
産業	13	
Industry		
土木	15	
Engineering works		
消防防災・交通防犯	17	
Fire-fighting disaster prevention & traffic crime prevention		
教育・文化	19	
Education & culture		
公営企業	21	
Public enterprise		
さぬき市のあゆみ(平成24年度～令和3年度)	23	
History of the decade		
さぬき市のデータ	25	
Sanuki City data		

さぬき市市民憲章

わたしたちさぬき市民は、多島美を誇る瀬戸内海沿岸部と讃岐山脈のすそ野に広がる田園地帯などの美しい自然や伝統文化を守り、笑顔があふれるまちをめざし、ここに市民憲章を定めます。

めざそう	だれもがいきいきと暮らせるまちを
まもろう	安全で安心な住みよいまちを
ひろげよう	健全な心身と思いやりを
きずこう	清潔で環境にやさしいまちを
もりあげよう	みんなが協働して新しいまちづくりを

平成29年4月1日 制定



本会議の様子(議会側)

市民の代表「さぬき市議会」

議会

The municipal assembly

さぬき市議会では、現在20名の議員が、市民と身近に接した市民の代表機関として、市民の皆様の意見を市政に反映させ、さぬき市を「夢ある住みよいまち」にするため、条例や予算など市政の主要な事業などについて審議し、決定しています。

市議会では、平成28年6月に議会の最高規範として「さぬき市議会基本条例」を制定しました。この条例の本旨に則り、不断の改革に努め、市民の代表として創意工夫を重ね、公平性及び公正性の確保、積極的な情報公開及び多様な市民参加の推進を図り、市民とともに地域の自主性を高めることを決意するとともに、全力をもって市民の負託に応えるため、様々な議会活動を実施しています。

さらに、広報の充実を図る取組として、平成29年5月から議会報告番組の放送を開始したほか、議会活動のさらなる活性化を図り、効率的で迅速な議会運営を行うため、I C T活用による議会改革の取組として、平成29年第2回定例会からタブレット端末を導入しました。

今後においても、さぬき市議会の活動に対する理解を一層深めていただき、より身近な存在に感じていただけるよう「開かれた議会」を目指して、更なる議会改革と活性化を推進していきます。



本会議の様子(議長・執行部側)



「守る つなぐ 進化する」の基本理念の下、「一つ上の質の良さ」を目指し、市民の皆さんが安全、安心、快適に暮らせる魅力あるまちづくりを進めていきます。

											(年度)
2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
基本構想											
前期基本計画				中期基本計画				後期基本計画			
実施計画(毎年見直し)											



行政改革

簡素で効率的な行財政運営を目指して、さぬき市行政改革大綱に基づく実施計画に沿って、事務事業の効率化とサービス向上などに向けた取組を推進してきました。

取組の内容は、歳入の確保や施設管理費等の適正化、組織機構及び事務・事業の見直しなど幅広い範囲に及んでいます。

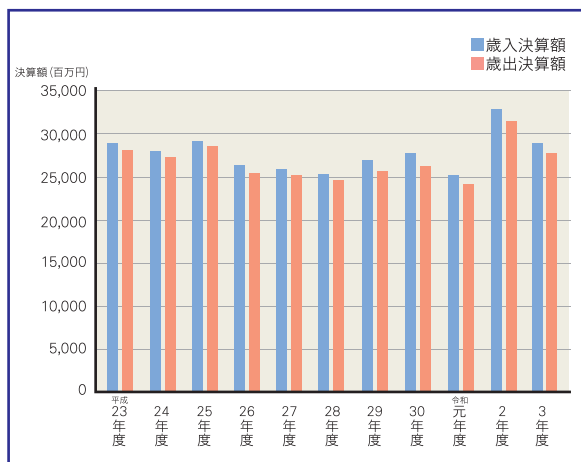
財政の安定化と市民サービスの維持・向上を図りつつ、将来にわたり持続可能な行財政体制の構築を目指し、引き続き徹底した行政改革を進めています。

財政

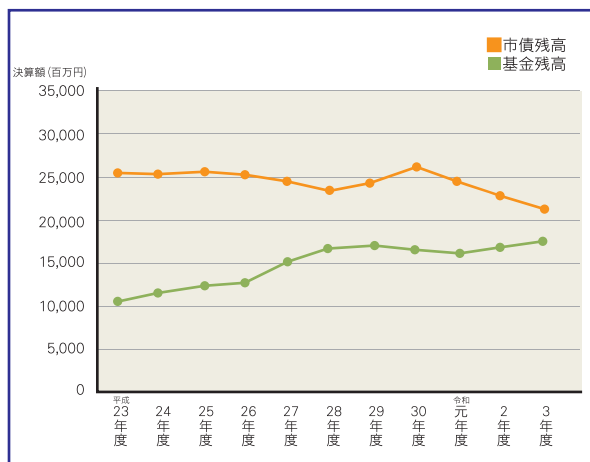
さぬき市の財政状況は、3次にわたる財政健全化策等に沿った種々の取組により、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の指標について一定の改善が図られてきました。しかしながら、近年の大型建設事業の実施に伴う公債費の増による実質公債費比率の悪化や経常的経費総額の増による経常収支比率の上昇など、依然として極めて厳しい状況に置かれています。

今後とも引き続き財政健全化への取組を推進し、安定した財政基盤を確立していくこととしています。

歳入・歳出決算額の推移



市債残高と基金残高の推移



主な財政指標

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
財政力指数	0.416	0.400	0.403	0.404	0.414	0.422	0.427	0.418	0.406	0.402	0.391
経常収支比率	86.3	87.1	87.1	87.6	89.1	92.7	92.7	95.6	96.5	92.6	92.6
実質公債費比率	19.1	17.3	16.0	14.6	13.5	12.9	12.5	13.1	13.7	13.2	12.4
起債制限比率	10.5	10.1	9.4	8.3	6.9	5.8	5.1	5.3	6.1	6.7	7.0
将来負担比率	57.1	37.1	9.9	—	—	—	—	—	—	—	—

地方創生

人口減少は、地域経済の規模を縮小させ、社会生活サービスの低下を招き、更なる人口流出を引き起こす悪循環を生むリスクがあることから、「静かなる危機」と呼ばれています。この構造的な課題に真正面から取り組むため、平成27年10月に「第1期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、令和2年3月に「第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少の克服と地域活力の向上に向けた取組を進めています。

情報化推進と市民主体のまち

情報コミュニティ

Information & community

情報通信

さぬき市では、より高品質で安定したサービスを市民へ提供するため、平成24年8月にCATV事業を民間に移管しましたが、自主放送をCATVの12チャンネルで放送することにより、市民への情報発信を引き続き行っています。

また、広報紙やさぬき市ホームページを通して、行政情報やまちの情報などの発信を行っていますが、今後、更に市民との情報の共有化を図っていくことが重要となるため、コンテンツの充実を図りながら、情報をタイムリーにわかりやすく提供するなど効果的発信に努めていきます。



コミュニティ

コミュニティの醸成に関しては、自治会活動に補助金を交付するなどして地域コミュニティの活性化を促しており、市民がより積極的に市政に参画できるまちづくりを目指して、平成17年4月には「さぬき市まちづくり基本条例」を制定しました。

これに基づき、自治会の代表者からなる市連合自治会の運営や、自治会長と市長が市政について意見を交わす市政懇談会の実施など、市民の声を広く聴き入れることを目指し、様々な活動を行っています。

全国的に核家族化や高齢化が進み、地域の絆がますます重要視される中、さぬき市は高い自治会加入率を誇っています。今後とも市民が互いに助け合う豊かなまちづくりを維持すべく、コミュニティの活性化を推進します。



市政懇談会



連合自治会総会

DX

デジタル技術が飛躍的な進歩を続ける現代社会において、先進的なデジタル技術を活用して直面する様々な課題の解決を図るため、また、市民の皆さんの生活の質や満足度を高めていくためには、本市においても、質の高い行政サービスの提供につながる自治体DXの推進が求められています。

このため、「いつまでも住みよい、住み続けたいまち」の実現をスローガンに、市民の皆さんの利便性向上、自治体業務の効率化、官民連携による新しい価値の創出を行動指針とする「さぬき市DX推進計画」を令和4年3月に策定し、全庁一丸となって有効かつ効率的な取組を進めています。



スマホ体験教室



「さぬき市DX推進計画」に掲げるまちの将来像(イメージ)

誰もが安心して自立した生活を送れる健康・福祉のまち

保健・福祉

Health & welfare

さぬき市では、地域に暮らす住民が抱えている様々な問題に対応するため、平成25年度に策定した「さぬき市第3期地域福祉計画」とさぬき市社会福祉協議会が策定した「さぬき市第3期福祉活動計画」を一つにまとめた「さぬき市第4期地域福祉計画・さぬき市第4期地域福祉活動計画」を平成31年3月に策定し、「手と手を取り合い、みんなが笑顔で暮らせる地域社会をつくりましょう！」をスローガンとして掲げ、地域づくりを様々な組織が連携した取組を進めています。



高齢者福祉

高齢者の皆さんに住み慣れた地域で健康な生活を長く続けてもらえるよう、平成18年4月にさぬき市地域包括支援センターを設置し、介護予防教室の開催、介護予防ケアプランの作成、各種相談への対応など様々な支援を行っています。



障害者福祉

障害者福祉の分野では、国の制度に沿った障害者自立支援給付等のほか、医療費などの支給、相談支援体制の充実、就労を含めた社会参加への支援などを行っています。また、発達障害児に対する支援ニーズの増加に対応するため、支援体制の確立や個別の相談支援の充実を図っています。

子育て支援

子育てに関する様々な情報を、市のLINEや、Facebook、母子手帳アプリといった、ソーシャルネットワークサービス(SNS)を活用して発信しています。

また、令和元年5月に、妊娠・出産・育児に関する総合相談窓口として、「さぬき市子育て世代包括支援センター“さぬきッズ子育てサポートセンター”」を開設し、子育てに関する切れ目ないサポートを行っています。

「地域子育て支援センター」への補助を通じて、保育園や幼稚園に通っていない親子や妊娠中の方が、子育て情報の交換や遊びの場を利用できるように支援を行っています。

ほかにも、市の独自事業として、小中学生の医療費の無償化や、さぬき市の新生児をお祝いする出産祝金の支給、放課後児童クラブ及び児童館の運営により子育て世帯の支援にも取り組んでいます。



発達障害相談支援



まちの健康応援団



国保体操教室

保育・教育施設

市内保育所(園)・こども園・幼稚園の入所(園)決定や保育料等の徴収を行うほか、公立施設においては管理運営を行い、私立施設に対しては運営費の補助や給付を行っています。

また、公立施設の統廃合や私立施設の施設整備に係る補助金の交付などを行い、子どもが快適で安全に過ごせるように保育・教育施設の環境整備を行ったり、子どもの受け皿の確保を図り、待機児童が生じないよう取り組んでいます。

保健施策

健康づくり活動を推進していくために、平成25年3月に「さぬき・すこやかプラン21(第二次)」を策定しました。この計画は、次世代を担う子ども世代から継続して取り組むことが重要であり、「生涯を通じて健康でいきいきと暮らせるまち・さぬき」の基本理念のもと、市民と行政の協働創作である「さぬき・まちの健康応援団体操～ふるさとに恋して～」の普及活動を継続的に取り組んでいます。

また、平成20年度から制度化された特定健康診査・特定保健指導では運動や食事など、生活習慣の改善に向けた取組について、市民に寄り添い個別でサポートしており、平成29年度から運動習慣が身につくように集団での運動教室も開催しています。

そして、さぬきッズ子育てサポートセンターでは、妊娠届の際に母子保健コーディネーターや保健師が妊婦面接を行い、妊娠中から出産、育児に関する様々な相談に応じています。

なお、令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種体制の整備や感染予防策の普及・啓発に取り組んでいます。



さぬきッズ子育てサポートセンター

環境衛生

自然を守り、
環境に配慮するまち

Environmental
hygiene

資源循環と省エネルギーにより地球環境への負荷を低減していくため、ごみ減量化やリサイクルの推進に向けて、生ごみ処理機の購入に対する助成やごみ袋の料金改定などを行うとともに、可燃ごみ、不燃ごみのほか、資源ごみ、粗大ごみ等の分別収集の市内統一化に努めてきました。

平成27年度には、「第2期さぬき市環境基本計画」を策定し、「さぬき市の目指すべき環境」における具体的な目標とそれを実現するための施策について定めています。このうち、不法投棄対策に関しては、市内各所に監視カメラを設置するとともに、定期的にパトロールを実施して不法投棄の撲滅を目指しています。



不法投棄禁止看板



ポイ捨て禁止看板



香川東部溶融クリーンセンター



大川広域志度クリーンセンター

また、国が目指す「脱炭素社会の実現」に向けて、地球温暖化対策を推進するため、太陽光発電システム設置に対する補助事業を実施するなど、再生可能エネルギー導入の普及・啓発を行い、持続可能なさぬき市を実現するため、市全体で脱炭素型のまちづくりを推進します。

さらに、公共用水域の水質保全によって美しく快適な居住環境を確保するため、下水道等の整備と運営を行っており、あわせて合併処理浄化槽の設置に対する補助金を交付するなど、生活排水対策に取り組んでいます。

今後とも、下水道施設の適正な維持管理と健全な事業運営に努めるとともに、合併処理浄化槽についても、適正な維持管理が行われるよう啓発を強化していきます。



鴨部川浄化センター学習会



鴨部川浄化センター学習会



マンホール

農林水産業

農業では、担い手の育成、振興作物の推奨による特産品の確立、ため池・農道・水路といった生産基盤の整備などの取組によりその振興を図っており、近年は、猿や猪などへの有害鳥獣対策も強化しています。

また、大川南川地区の自然薯は、県内最大の産地となっています。

林業については、林道の整備や維持管理のほか、造林に対する補助等による森林の整備と保全に努めています。

さらに、水産業では瀬戸内海東部の海域を生かし、底引き網や刺し網などによる沿岸漁業や海苔、牡蠣などの養殖漁業が行われています。

産業

Industry

賑わい、活力のあるまち



さぬきワイン



牡蠣焼き



自然薯



桃

大串自然公園



さぬき市遊学のススメ

企業誘致

企業誘致は、働く場の確保や地域経済・地域社会の活性化などに大きな影響があり、主要な施策の一つであることから、商工観光課に企業誘致総合窓口を設置して取組を強化しています。新たに、企業立地にかかる助成制度の拡充、土地リース制度の創設のほか、企業立地に係る事業用地等登録制度を設けるとともに、それぞれの事案に適切に対応して誘致に努めています。

商工業

令和2年度工業統計調査による市内事業所(従業員数4人以上)は123、従業員数は4,652人、製造出荷額は1,958億円となっていますが、その後のコロナ禍による需要の停滞から景気は低迷し、現在緩やかに持ち直しに向けた傾向にあります。そのため、今後は、商工団体や事業者からのニーズを踏まえ、産業支援機関や金融機関等とも連携し、幅広く地域企業への支援策を推進していくこととしています。

また、商業に関しては、近年、消費の中心が、地元の商店街やスーパーから大型ショッピングセンターに移行する傾向が顕著になっています。市では、さぬき市商工会と連携して、商工業の振興のための各種施策に取り組んでおり、さぬき市共通商品券事業においては、平成24年度、平成27年度、令和元年度にそれぞれプレミアム付商品券を発行し、市内の消費活動を活性化することに努めています。



さぬきワイナリー



津田の松原海水浴場



冬のうまいもんまつり



大窪寺

産業

13/14

観光

観光では、主要観光地である大串半島の賑わい創出のため、活性化検討委員会での検討や民間企業の企画公募によるカフェ営業を経て、現在は新たな交流施設の建設に取り組んでいます。

その他観光施設・温泉施設については、利用状況や施設の特性などを考慮しながら、整備・維持管理を行っています。

また、本市に愛着を持ち、滞在してもらうため、四国遍路を締めくくる上がり3か寺をはじめ、本市の文化、産業、自然などに触れることのできるイベント、体験型プログラム等の造成にも取り組んでいます。

なかでも、本市の特産品である牡蠣を中心に、“さぬき市ならではの”の食を味わえる「さぬき市冬のうまいもんまつり」は、冬の一大イベントとして成長しました。

土木

Engineering
works

市民の快適で
安全な暮らしを支えるまち

道路・河川・港湾

道路・橋梁、河川・海岸及び港湾などは、人々の活動と交流を促進し、便利な日常生活や産業活動を支える基盤であり、継続的に必要な整備と適切な維持管理を行っています。

このうち、道路・橋梁については、新設改良事業として平成27年度に平砕線を整備し、令和元年度までに志度駅南中央線、志度幼稚園線を整備することで通行性の改善と歩行者の安全性確保に努めてまいりました。また維持補修事業では、管理施設の老朽化が進行していることから維持管理計画を策定し、効率的に修繕を実施することで良好なインフラ整備を目指しています。

また、大雨時の冠水防除のための排水施設についても、近年のゲリラ豪雨にも負けない施設とするため、平成24年度に梅川雨水排水ポンプ場を整備し、平成27年度に浦小田雨水排水ポンプ場を建設しました。

今後とも、こうした社会基盤については、ライフサイクルコストの抑制を図りながら、適切に維持・管理を行って、安全・快適な市民生活の向上に努めていきます。



梅川雨水排水ポンプ場



浦小田雨水排水ポンプ場



地震津波対策ゲート

都市計画・コミュニティバス

都市計画の分野では、平成27年3月に策定した第2次さぬき市総合計画基本構想において、人口減少対策・中心市街地の活性化・効率的な都市構造の構築・公共交通機関を主体とした集約拠点間の連携といった集約型都市構造のまちづくりに向け、第1次さぬき市都市計画マスタープラン（以下、「第1次都市マス」）の見直しに取り組むことを示しました。

さらに、平成31年3月に策定された第2次総合計画中期基本計画でも、都市機能や居住の集約、拠点同士のネットワーク等に関する検討を進め、第1次都市マスの見直しを行い、本格的な人口減少下における持続可能なまちづくりを進める必要があるとの認識を示すとともに、本市においても立地適正化計画を策定することを宣言しました。これらを受け、令和元年度から2年間をかけて、第2次さぬき市都市計画マスタープラン（以下、「第2次都市マス」）とさぬき市立地適正化計画を策定しました。

両計画の策定に当たっては、市民の合意形成の促進とまちづくり機運の醸成を図るため、さぬき市広報に特集記事を掲載するほか、3回のまちづくり市民会議を開催しました。

このうち、第2次都市マスでは、これまで以上に防災対策面を意識し、「災害等が起こったとしても、自分たちの生命と暮らしを守り抜く“強い”まちづくり」を最重要となる理念に掲げるとともに、都市拠点の志度拠点、これに次ぐ生活拠点の大川・寒川・長尾拠点と津田拠点という3つの拠点を持つ将来都市構造を示しました。

また、さぬき市立地適正化計画では、都市拠点である志度拠点内に居住誘導区域と都市機能誘導区域を設定し、密度を維持し、生活利便性を確保するための誘導施策を掲げました。

また、公共交通の面では、市民ニーズ等を踏まえてコミュニティバスの再編作業を行い、令和3年4月1日から7つのルートで運行するとともに、令和2年度に策定した地域公共交通計画に基づき、計画的に公共交通不便地域の解消等に努めています。

人口の減少、少子高齢化やモータリゼーションの進展など社会情勢が変化する中、地域によって異なる市民のニーズに的確に対応しながら、安全・安心・快適に暮らすための持続可能な公共交通網の実現を目指していきます。



コミュニティバス（中型バス車両）

コミュニティバス（ジャンボタクシー車両）

消防防災 交通犯災

市民の尊い生命と財産を守る安全のまち

Fire-fighting
disaster prevention
& traffic crime
prevention

消防防災

近年の大規模災害の発生を教訓として、多様化・高度化する通信ニーズに対応するため、同報系防災行政無線をデジタル化し、屋外拡声子局を市内に98か所設置、更に移動系防災行政無線を更新するなど、情報伝達体制の強化に取り組むとともに、津波ハザードマップや洪水、土砂災害ハザードマップを随時作成し、全戸配布するなど、市民の災害リスクに対する意識啓発を行いました。

また、災害発生時に自ら避難することが困難である避難行動要支援者等（高齢者、障害者等）の円滑かつ迅速な避難を図るため、避難行動要支援者個別避難計画の作成を推し進めてきました。

平成24年からは地域における防災力を強化し、災害時の被害防止及び軽減を図るため、より実践的な防災訓練を実施する経費を助成する自主防災力強化事業費補助金を創設しています。

今後も、引き続き、自主防災組織活動の支援を積極的に行うとともに、地域のリーダーとなる防災士等の育成に取り組み、防災・減災・縮災対策を推進します。

平成30年度からは、消防団女性部を発足し、住宅用火災警報器のPR活動等、主に広報活動を実施し、防災・防火の啓発を行っています。今後においても、ハード・ソフトの両面から、市民が安心して生活できるように取り組んでまいります。



防災士養成講座



防災訓練

屋外拡声子局



消防団出初式



交通安全教室



交通安全キャンペーン

交通防犯

香川県の交通事故発生件数及び負傷者数は令和2年まで10年連続で減少していますが、交通事故死者数においては、近年下げ止まり傾向にあり、人口10万人当たりの交通事故死者数は依然として全国ワースト上位に位置付けられています。交通事故による死者数や重傷者数の減少を目指し、地元からの要望や通学路の安全点検等に基づき、交通安全施設の整備に取り組むとともに、交通安全母の会やさぬき警察署等との連携により、交通安全キャンペーン、交通安全教室などを開催し、交通安全意識の高揚に努めています。

また、高齢者の運転による交通事故の抑制を図るため、運転免許証の自主返納等を行った高齢者に対する支援事業を実施しています。

防犯に関しては、地域安全推進委員、さぬき市防犯協会とともに、防犯キャンペーン、防犯教室などの啓発活動や夜間の犯罪防止のための防犯灯整備に取り組んでいます。

今後とも、さぬき警察署をはじめ各種関係機関とより一層の連携を図りながら、市民が安全・安心に生活できるまちづくりを目指して、交通安全活動及び防犯活動を推進していきます。



交通安全教室



防犯教室



自転車大会



防犯パトロール

教育・文化

学ぶ意欲と豊かな心を育むまち

Education
&
culture

教育

地域・保護者の皆さんとともに、人と人、過去と未来をつなぐため人間としての根っこを育て、多彩な「さぬきびと」を育むという「さぬき市教育大綱」の理念の下、美しい自然や地域の歴史と伝統を生かし、未来をひらく力を備えた人づくりと、香り高い文化あふれるまちづくりを目指して、新しい時代にふさわしい教育の実現に向けて取り組んでいます。

学校教育の分野では、少子化による児童・生徒数の減少や施設の老朽化に対応するため「さぬき市学校再編計画」等に基づき、幼稚園や小・中学校の再編・整備、耐震化対策等を計画的に実施し、安全で快適な教育環境づくりを進めるとともに、教育内容の充実に努めています。

今後も、ハード面の環境整備とあわせて、国際化や価値観の多様化が進む激しい社会変化の中で、子どもたちがふるさとを愛し、力強く生き抜いていけるよう時代にあった質の高い教育を一層推進していきます。

また、生涯学習に関しては、歴史や伝統文化を継承し、市内に数多く存在する貴重な古墳等の文化財を保存・活用するための取組を進めるとともに、文化団体の自主活動を支援するなど芸術文化の振興を図っています。



放課後子ども教室



剣淵交流



学校支援ボランティア



授業の様子



さぬき南小学校



さぬき南中学校

啓発活動

人権は、誰もが生まれながらに持っている、人間が人間らしく生きていくために誰からも侵されることのない権利です。「人権尊重は『幸せづくり』」を基本として、平成26年に「さぬき市人権教育及び人権啓発に関する基本指針」を定め、令和2年には改訂版を策定し、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障害者及び性的少数者などに対する人権問題の解決に向けた取組を進めてきました。そして平成29年には、それまでの人権に関する条例を全部改正し、「さぬき市人権教育及び人権啓発の推進並びに人権を擁護する条例」を制定したほか、令和4年には「さぬき市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱」を定め、全ての人の人権が尊重される明るく平和な住みよいまちづくりの実現を目指しています。

また、一人ひとりの個性を尊重し、個人の能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を目指し、平成26年に「第2次さぬき市男女共同参画プラン」を策定し、次世代を担う若者に対しての取組として中学生を対象としたキャリア教育事業や多文化共生の理解を深めるための催し、DV防止啓発などを実施しています。今後も国等の動向などを踏まえ、様々な立場の人が自分らしく、ともにいきいきと暮らすことができるまちを目指し、更なる取組を進めます。



寒川小学校



異文化交流(日本文化体験)



辛立文化センター(冬のつどい)



津田古墳群国史跡指定記念講演会



志度東体育館

健全な経営で市民生活に貢献する公営企業

Public
enterprise

病院

市民病院は、さぬき市が掲げる「守る・つなぐ・進化する」と市民病院が定めた「われわれは市民のこことからだの健康を支え、住みよいまちづくりに積極的に貢献します。」の基本理念の下、平成24年に建て替えた現在の施設で、一般的な外来・入院診療はもとより、救急、小児、周産期、精神等の政策医療を提供する自治体病院です。

中でも、香川県から指定された「第二種感染症指定医療機関」として、令和2年2月に端を発した「新型コロナウイルス感染症」の患者を受け入れるべく、帰国者・接触者外来（発熱外来）の設置、重点医療機関として一般病棟をコロナ専用病床に転換した上での入院患者の受入れ、新型コロナウイルスワクチン予防接種への参画等、種々の感染症医療を積極的に展開しています。

今後、少子高齢化が急速に進展すること等で、公立病院の経営が一段と厳しくなることが予測される中、市民病院は、さぬき市が目指す「健康づくりと安心できる医療体制の充実」の中心的役割を果たす市立病院として、全力で地域医療の充実に努めてまいります。



予防接種風景



看護の様子



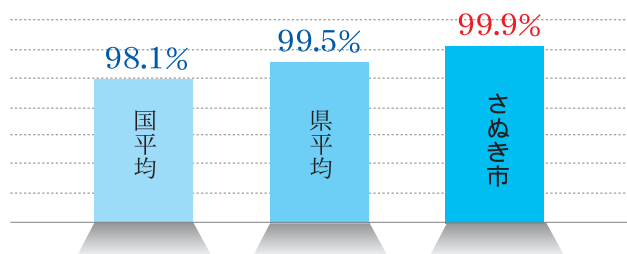
帰国者・接触者外来におけるPCR検査



さぬき市民病院

水道

水道は、健康で快適な住民生活に欠くことのできない重要な社会基盤です。令和2年度におけるさぬき市の水道普及率は99.9%で、県平均普及率の99.5%と国平均普及率の98.1%を共に上回っています。



県内市町では、人口減少に伴う水道収益の減少、経年劣化が進む水道施設の更新、渇水や地震等の災害への対応、技術継承など個々で対応することが難しい課題を解決し、将来にわたり安全・安心な水道水を安定的に供給できるよう、しっかりとした運営基盤を築き上げるため、平成30年4月に県内の水道事業が統合し、香川県広域水道企業団が発足しました。また、配水量のおよそ54.1%を香川用水に依存しており、早明浦ダムの貯水率に大きく影響を受けることから、渇水時の対策として、緊急時の旧町間の連絡管を敷設するなど、安全・安心な水道水を供給するための取組を進めてきました。

ただ、給水人口は減少し続けており、今後も給水量の減少に伴う減収が予想されております。およそ60か所ある水道施設は、配水池や配水管の耐震化及び布設替、浄水施設の整備・統合等が課題となっています。加えて、老朽施設の更新等も必要となるなど、水道事業を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあります。

しかしながら、水道は市民生活や産業活動に欠くことのできないライフラインであることから、より市民に信頼され、安心して利用してもらえる水道水の安定的な供給を目指していきます。



前坂配水池



石神浄水場



新平尾配水池

さぬき市のあゆみ（平成24年度～令和3年度）

H24年度
11年目

4月

鴨部川浄化センターが香川県から移管【写真 1】
幼稚園・小学校・中学校で新たな3学期制の実施
市民病院に病児病後児保育室「コスモス」設置

10月

合併10周年記念式典举行
障害者虐待防止センター設置

11月

合併10周年記念プレミアム付市共通商品券発行
市民病院グランドオープン（駐車場運用開始）

2月

冬のうまいもんまつりスタート

3月

海抜マップ作成
（12月 津田・志度地区の主要箇所には海抜表示設置【写真 2】）
大川第一中学校、天王中学校閉校（4月1日さぬき南中学校開校）

H25年度
12年目

10月

津田古墳群国史跡指定

1月

津波ハザードマップ作成

3月

中央小学校、小田小学校、鴨部小学校閉校（4月1日さぬき北小学校開校）
中央幼稚園、小田幼稚園、鴨部幼稚園閉園（4月1日さぬき北幼稚園開園）

H26年度
13年目

4月

市長選挙執行（無投票）現職 大山茂樹氏が再選（3期目）

10月

市議員定数条例の一部改正 議員定数の削減（22人⇒21人）

3月

第2次総合計画前期基本計画策定
富田小学校、松尾小学校閉校（4月1日さぬき南小学校開校）
富田幼稚園、松尾幼稚園閉園（4月1日さぬき南幼稚園開園）

H27年度
14年目

4月

市議会議員選挙執行（議員定数21人 投票率57.7%）

7月

プレミアム付市共通商品券発行【写真 3】

10月

国勢調査の実施（人口50,272人 19,752世帯）

3月

まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
公共施設等総合管理計画策定
天体望遠鏡博物館オープン【写真 4】

H28年度
15年目

4月

東温市・さぬき市芸術・文化、観光連携交流協定締結
学校支援ボランティア全地区で開始
市民病院に院内保育所「ひまわり」開所

6月

市議会基本条例制定

11月

観光体験型プログラム「さぬき市遊学のススメ」スタート【写真 5】

1月

教育大綱策定

3月

前山小学校閉校（4月1日長尾小学校と統合）

H29年度
16年目

4月

市民憲章制定

5月

市議会報告番組放送開始

7月

土砂災害ハザードマップ作成

9月

空家等対策計画策定

1月

さぬき市土地改良区設立

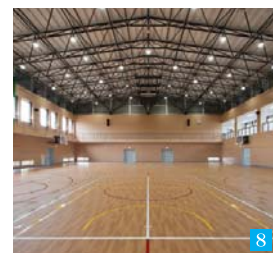
3月

「四国家のお宝ツアー」スタート【写真 6】
防災行政無線（同報系）デジタル化



H30年度
17年目

- 4月 Facebookページ「さぬき市子育て支援ネットワーク」公開
消防団女性部発足
市長選挙執行(投票率37.22%)現職 大山茂樹氏が再選(4期目)
- 6月 B&G海洋センター水泳プール リニューアルオープン【写真 7】
- 7月 電子母子手帳アプリ「さぬきッズダイアリー」サービス提供開始
- 9月 議員定数条例の一部改正 議員定数の削減(21人⇒20人)
- 2月 高松藩主松平家墓所国史跡指定
- 3月 第2次総合計画中期基本計画策定
神前小学校、石田小学校閉校(4月1日寒川小学校開校)
津田中央保育所、津田東部保育所閉所、津田幼稚園、
鶴羽幼稚園閉園(4月1日津田こども園開園)



H31年度
(R1)
18年目

- 4月 志度東体育館開館【写真 8】
市議会議員選挙執行(議員定数20人 投票率54.35%)
津田支所、大川支所、寒川支所、長尾支所を廃止
放課後子ども教室全小学校区で開始
- 5月 寒川庁舎開庁【写真 9】寒川庁舎内に総合支所開所(出張所の開庁日変更)
さぬきッズ子育てサポートセンター開設
- 9月 洪水ハザードマップ作成
- 10月 一般社団法人さぬき市観光協会設立
- 2月 市民病院が新型コロナウイルス診療・検査医療機関に指定
- 3月 寒川第2庁舎開庁【写真 10】



R2年度
19年目

- 4月 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
市民病院に新型コロナウイルス感染症患者専用病床設置
下水道事業に企業会計方式を導入
- 8月 大串半島活性化基本構想が市議会で議決
- 10月 国勢調査の実施(人口47,003人 19,445世帯)
- 2月 防災行政無線(同報系)の屋外拡声子局を42局増設
- 3月 「大窪寺道」国史跡(讃岐遍路道)に追加指定
第2次都市計画マスタープラン、立地適正化計画策定
人・農地プラン策定
地域公共交通計画策定



R3年度
20年目

- 4月 公共施設(公民館及び体育館等)使用料改正
出産祝金支給開始
旧津田町及び旧大川町区域の過疎地域(一部過疎)指定
東京2020オリンピック聖火リレー【写真 11】
- 7月 JA香川県さぬき大川カントリーエレベーター竣工
- 8月 国土強靱化地域計画策定
- 3月 防災行政無線(移動系)を更新【写真 12】



R4年度

- 4月 市制施行20周年を迎える

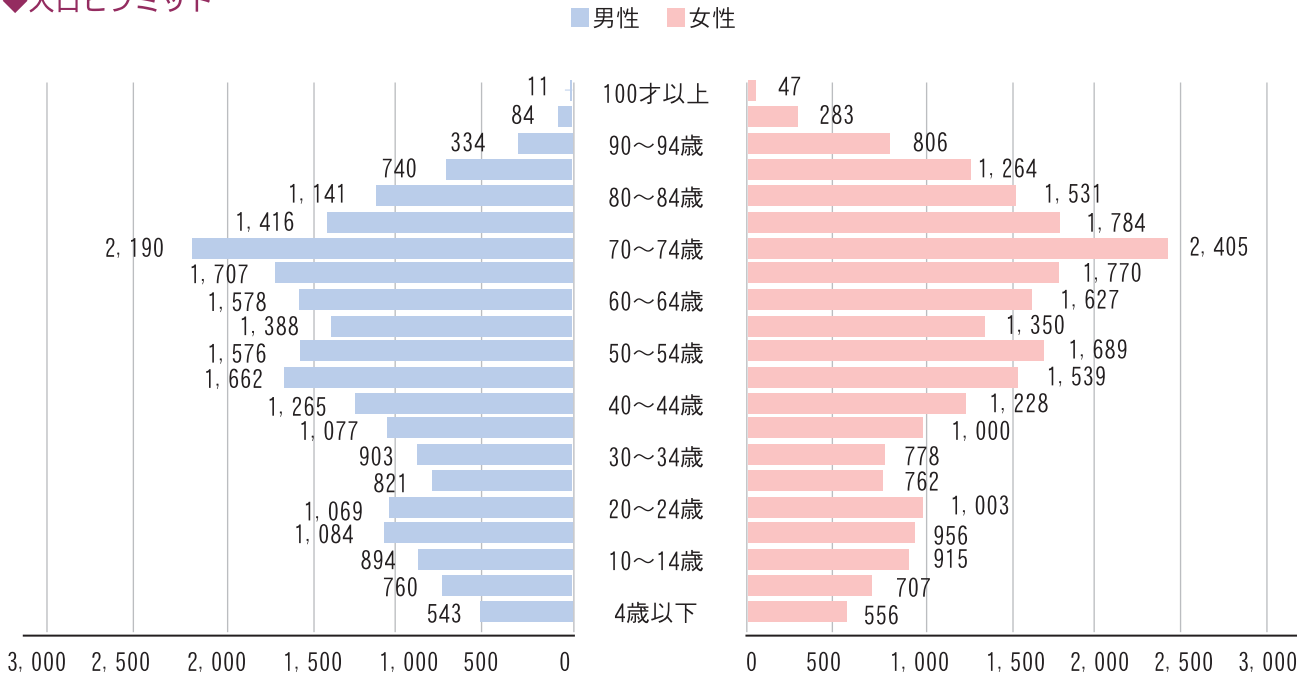
さぬき市のデータ



◆住民基本台帳による人口・世帯数等の状況

人口(人)			幼年人口【0～14歳】			生産年齢人口【15～64歳】			老年人口【65歳以上】			世帯数(世帯)
総数	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
46,243	22,243	24,000	4,375	2,197	2,178	24,355	12,423	11,932	17,513	7,623	9,890	

◆人口ピラミッド



(注) 令和4年4月1日現在
資料: 住民基本台帳人口

◆国勢調査による人口・世帯数の推移

年次	人口(人)			世帯数(世帯)
	総数	男	女	
平成 2年	57,604	27,606	29,998	16,887
平成 7年	58,390	28,350	30,040	19,159
平成 12年	57,772	28,132	29,640	19,728
平成 17年	55,754	26,718	29,036	20,046
平成 22年	53,000	25,358	27,642	19,698
平成 27年	50,272	24,148	26,124	19,752
令和 2年	47,003	22,484	24,519	19,445

(注) 各年10月1日現在
資料: 香川県統計年鑑

◆地目別面積

区分	総数	田	畑	宅地	山林	その他
地積(平方キロメートル)	158.63	24.23	6.41	12.35	68.95	46.69
構成比(パーセント)	100	15.3	4.0	7.8	43.5	29.4

(注) 令和4年1月1日現在
資料: 固定資産税概要調書

◆幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校の状況

幼稚園

園 名	3歳児	4歳児	5歳児	合計(人)	学級数	教員数	職員数
さぬき南幼稚園	0	21	19	40	2	4	1
志度幼稚園	8	16	19	43	3	6	1
さぬき北幼稚園	0	2	1	3	1	4	1
寒川幼稚園	1	8	15	24	2	6	1
長尾幼稚園	6	6	3	15	2	4	1
造田幼稚園	9	10	11	30	3	5	1
合 計	24	63	68	155	13	29	6

幼保連携認定型こども園

園 名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計(人)	学級数	教員数	職員数
津田こども園	1	15	16	18	17	17	84	6	24	5

小学校

学 校 名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計(人)	学級数	教員数	職員数
津田小学校	27	34	29	21	33	38	182	10	17	1
さぬき南小学校	30	22	36	25	39	43	195	11	18	1
志度小学校	90	72	84	84	82	77	489	21	32	1
さぬき北小学校	41	26	33	38	32	46	216	12	17	1
寒川小学校	35	21	42	40	42	44	224	13	18	2
長尾小学校	74	53	79	50	78	71	405	19	30	1
造田小学校	21	30	34	31	29	29	174	8	13	1
合 計	318	258	337	289	335	348	1,885	94	145	8

中学校

学 校 名	1年	2年	3年	合計(人)	学級数	教員数	職員数
さぬき南中学校	98	139	134	371	14	29	3
志度中学校	112	122	117	351	14	28	1
長尾中学校	98	109	94	301	12	25	1
合 計	308	370	345	1,023	40	82	5

(注) 令和4年5月1日現在
資料: 学校基本調査

◆主な産業

農業	水稻、アスパラ、ミニトマト、青ネギ、キャベツ、ニンニク など
漁業	ハマチ、タイ、カンパチ、牡蠣、海苔 など
工業	クレーン等の一般機械、ゴム製品、冷凍食品、衣料品製造 など



◆観光名所

四国八十八カ所霊場上がり3か寺(志度寺、長尾寺、大窪寺)
津田の松原、大串自然公園、みろく自然公園、門入の郷、亀鶴公園 など



◆特産品、お土産

桐下駄、ワイン、自然薯 など



さぬき市
MAP



■市の木：松



■市の花:コスモス

さぬき市マスコットキャラクター
「さっきー」

